第２４回秋田県障害者技能競技大会

「縫製」競技課題

次の注意事項及び手順に従って、裁断済みの支給された材料で、完成図に示す作品を作成しなさい。

１.注意事項

（１）競技開始後、質問等がある場合、参加者は手を上げて名札着用の審査員の指示を受けること。
（２）競技開始後、付添者等は口頭での指示並びに介助はできないこと。
（３）競技中の工具の貸し借りは禁止すること。
（４）作成時間の評価は、２時間以内に課題の制作を終了すれば「減点なし」とすること。時間を有効に活用し、ていねいな作品作りを行うこと。
（５）支給材料は欠陥がない限り再支給はしないこと。ただし、仕損じによる材料交換は減点の対象とすること。
（６）競技終了後は速やかに帰宅の準備をすること。
（７）作品は、後日機構から学校へ郵送等する。
（８）作業時の服装は、作業に適したものであること。
（９）退場する前には、使用機械・作業台等の周辺を整理整頓すること。

２.制作品名

サロンエプロン　・・・　課題図に従って、サロンエプロンを完成させること。

３.競技時間

所要時間　：　２時間

４.手　　順

（１）競技開始前に、競技用材料が下記デザイン画のとおりであることを確認すること。
エプロン布・・・１枚　腰ひも・・・２本　ポケット布・・・１枚
（２）支給材料を使用し、別添資料(№１～５)の「縫製（サロンエプロン）工程表」と「サロンエプロンの作り方」を参考に課題図で決められたサロンエプロンを作ること。
（３）印のついていない方を表面とする。まち針・手芸ボンド（しつけに使用）その他の補助具は自由に使用してよいこと。
（４）残布でミシンの調子を見ること。

５.支給材料

（１）布：木綿 100%（無地）・・・裁断、印付け済サロンエプロン１枚分（印のついていない方を表とする）
（２）ミシン糸：ポリエステル１巻（白系統）・・・持参したミシン糸（ポリ）でも可能

６.参加者が準備、持参する工具等準備品一覧表

品　　名	規　格・寸　法（㎜）	数量	備　考
ミシン	学校等で使用しているもので可	１台	名前を付けて
アイロンと アイロン台	家庭用アイロン （スチームアイロンの場合はドライにして使用）	各１台	〃
裁縫道具	ものさし、まち針、手芸ボンド、ハサミ等（個々に必要なもの）	１式	〃
筆記用具	必要に応じて	１式	〃
予備のミシン ミシン用針	各自持参してください （ミシン針を取り替える器具も各自で持参してください）	１台 必要数	〃

７．競技会場に置かれている工具等準備品一覧表

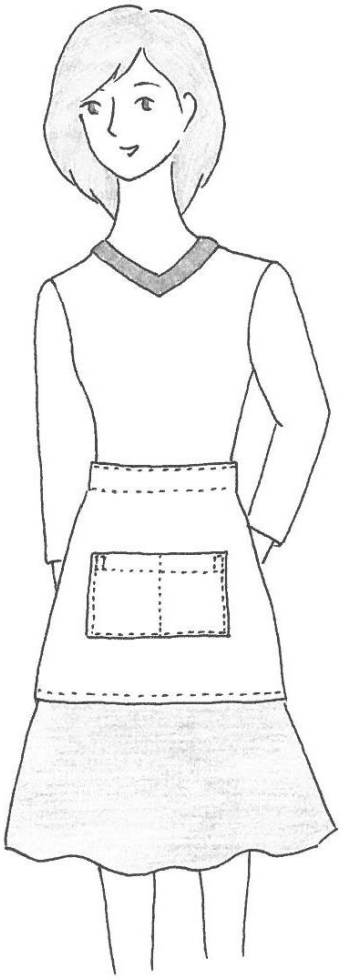
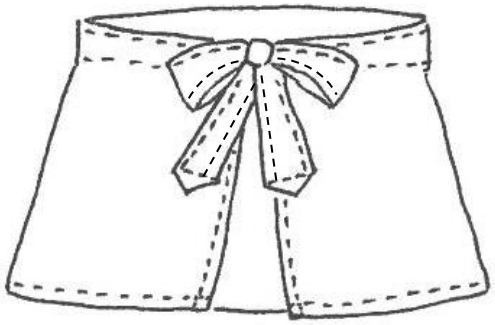
品　　名	規格・寸法(mm)	数量	備　　考
作業台	縦 450×横 1800×高 700	１台	
ミシン、アイロン	予備用	１台	
延長コード(ドラム)	予備用	１台	
手芸ボンド	予備用	１個	

８．審査基準

（１）技能・態度～寸法・機械操作・手作業の正確さ、手順や段取り・機械操作の工夫、作業の丁寧さなど

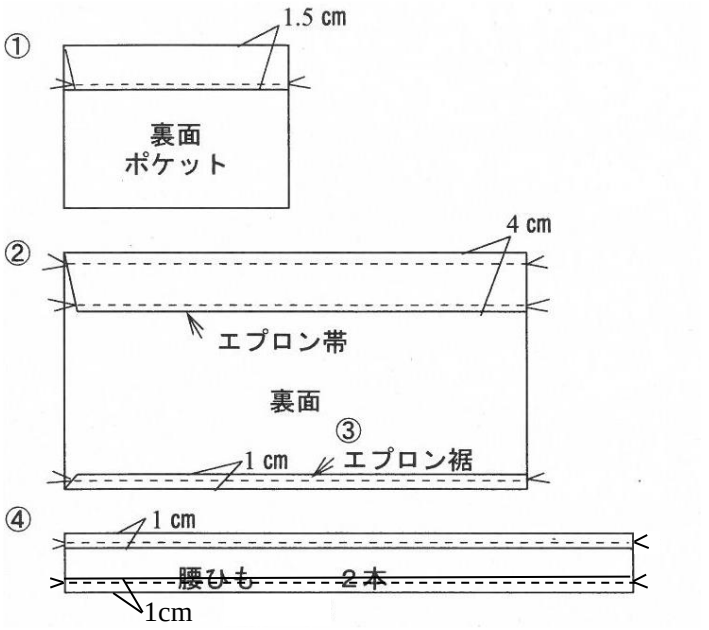
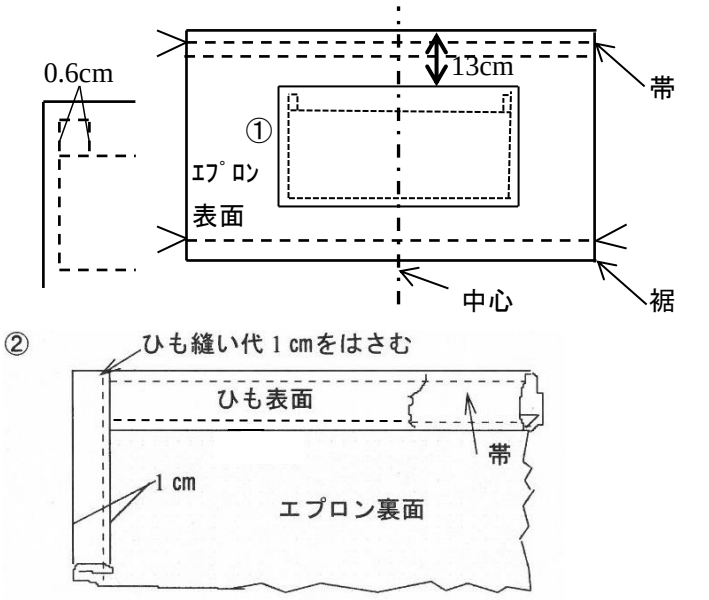
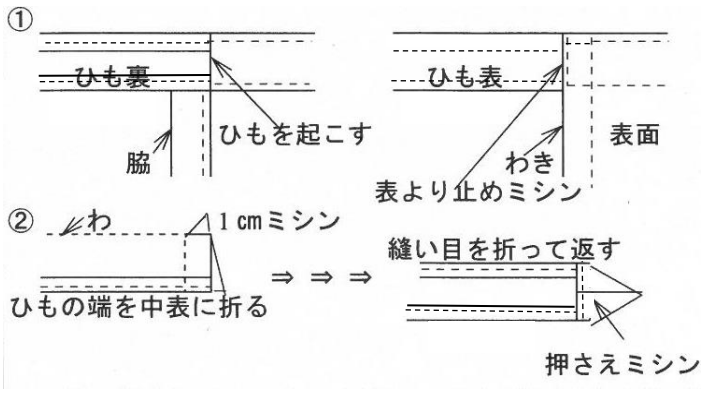
（２）完成度～寸法・ポケットの位置・ひも付けの角度・ひものポイントの作り方・ステッチの仕上がりなど

【　課題完成図　】

（まえ）	（うしろ）
	

資料No.１

縫製（サロンエプロン）工程表

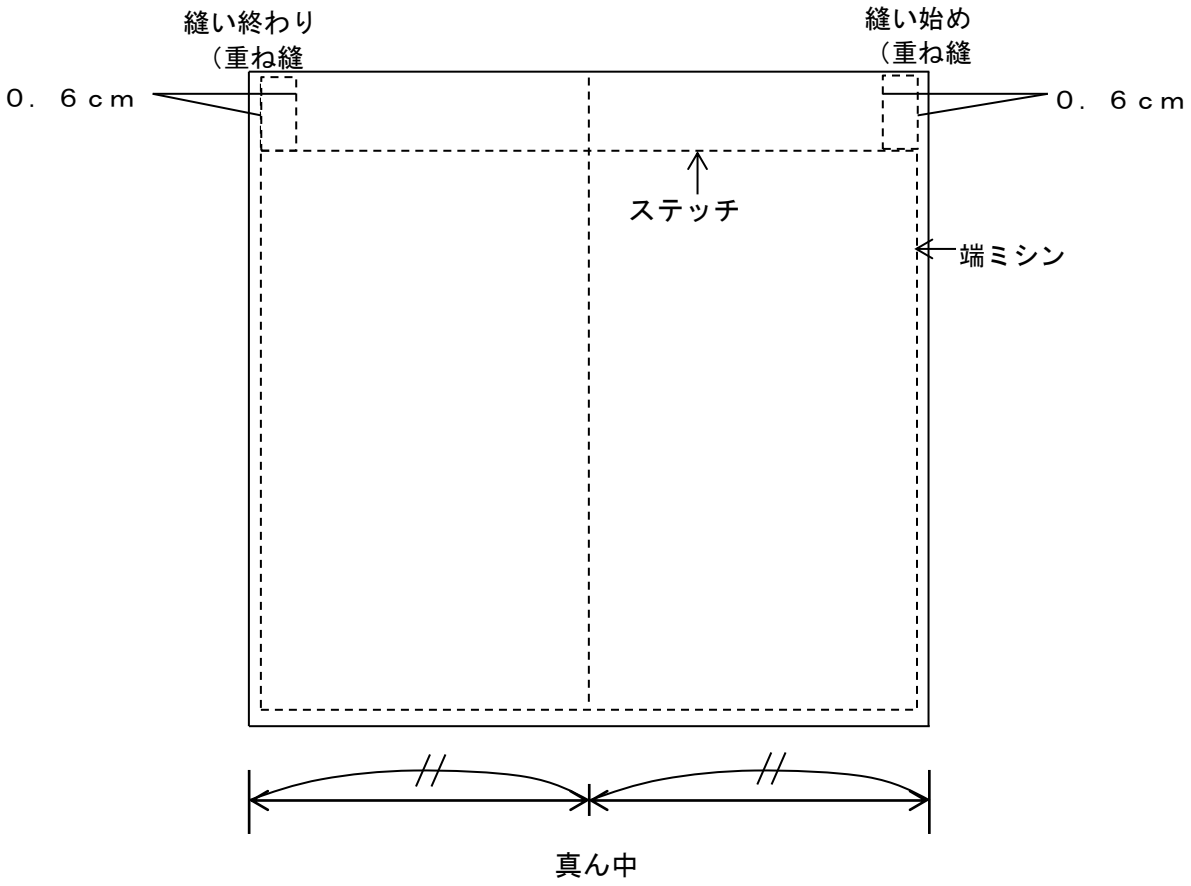
	区分	図解
第一工程	１回目 アイロン掛けとミシン掛け ①ポケット口の三つ折りミシン（１枚） ②エプロン帯三つ折りミシン 　上部端ミシン ③エプロン裾１㎝の三つ折りミシン ④腰ひも１㎝の三つ折りミシン（２本） ★ ワンポイント アイロンで折った時に 縫い代にところどころ、 手芸ボンドを少し付けて しつけ代わりにすると 作業がスムーズに！！	
第二工程	２回目 アイロン掛けとミシン掛け ①ポケット三方を折る 　エプロンの所定の位置に付ける ②両脇にひも縫い代１㎝をはさみ 　脇１㎝の三つ折りミシン	
第三工程	３回目 アイロン掛けとミシン掛け ①腰ひも付け表より、止めミシン ②腰ひもの先のポイントを作る	
第四工程	仕上げ	糸端の始末、アイロン仕上げ

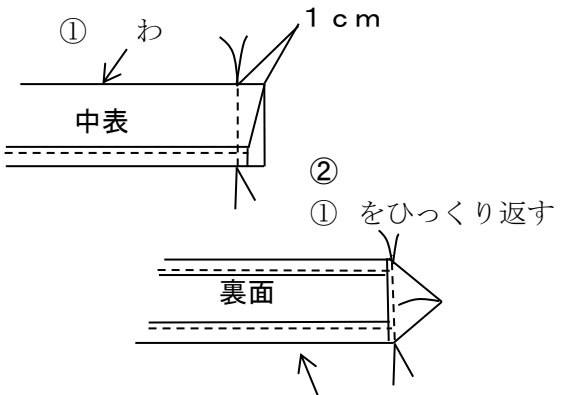
資料No.２

サロンエプロンの作り方

ポケットの付け方

（図１）

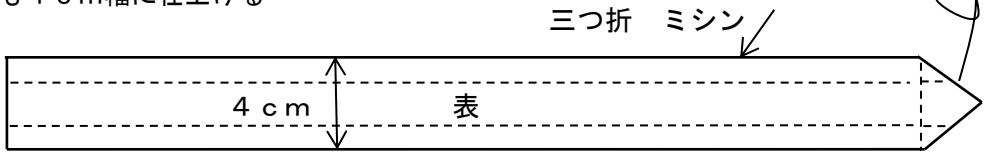




腰ひも作り（２本作る）

腰ひも４ｃｍ幅に仕上げる

（図２）



資料№.３

腰ひもの付けかた

図２－１

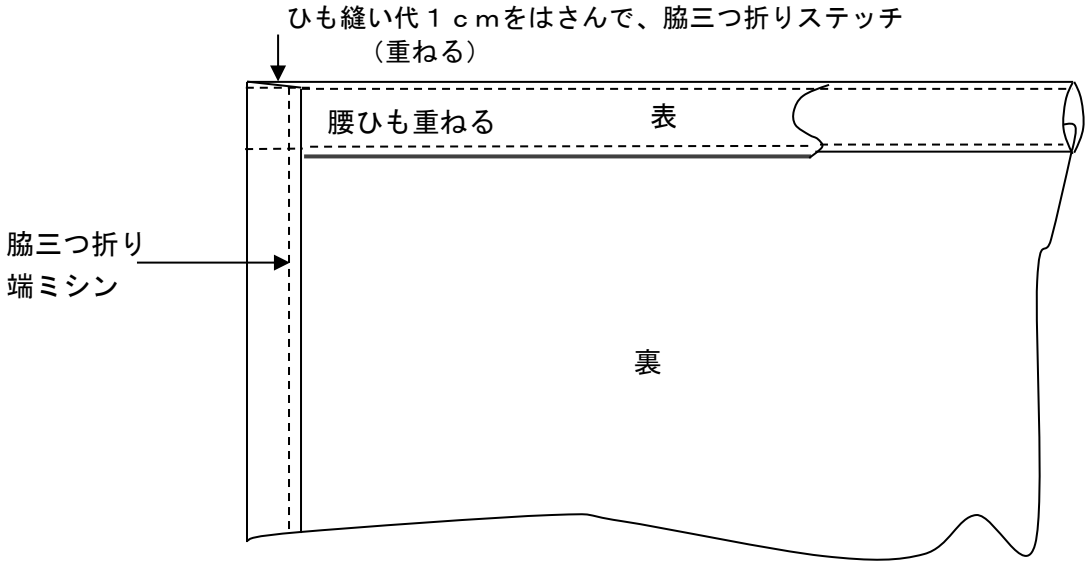


図２－２

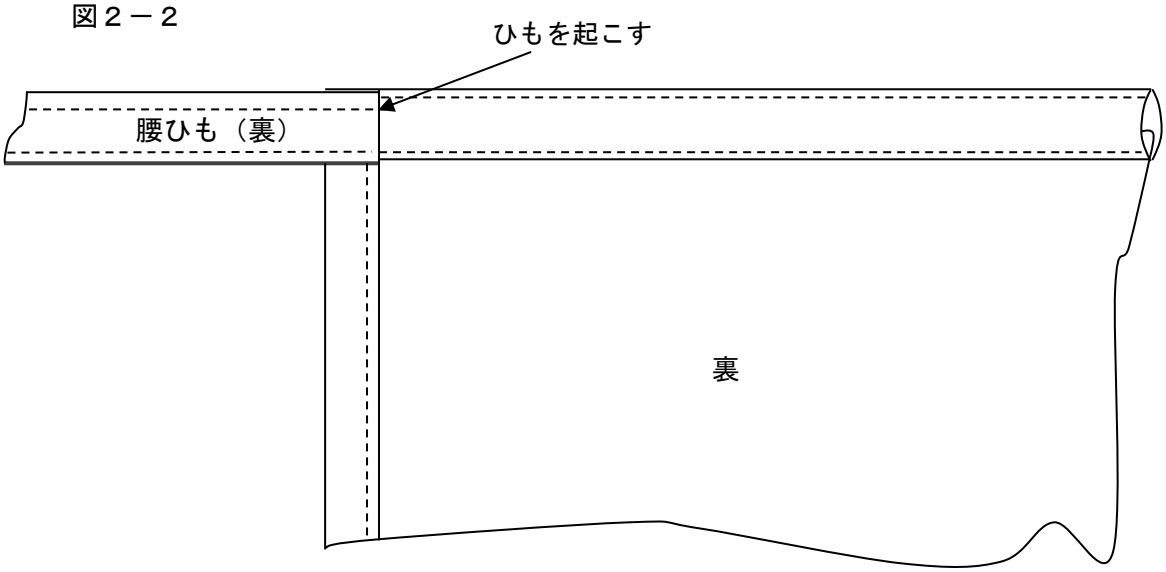
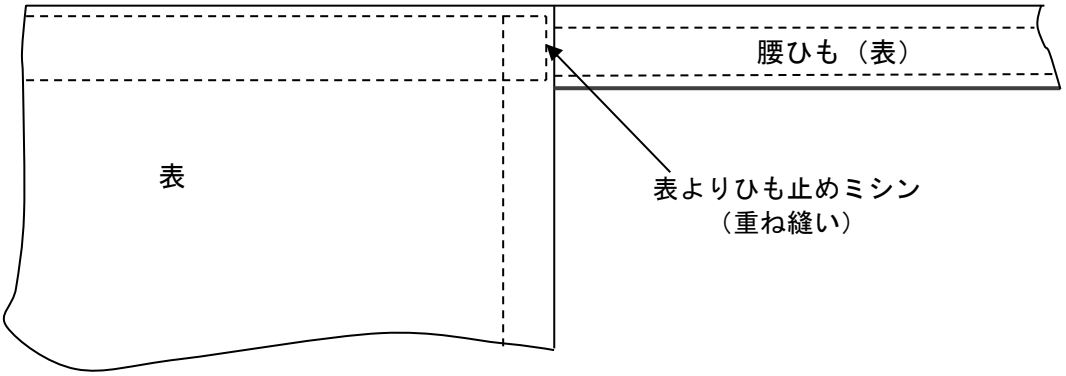
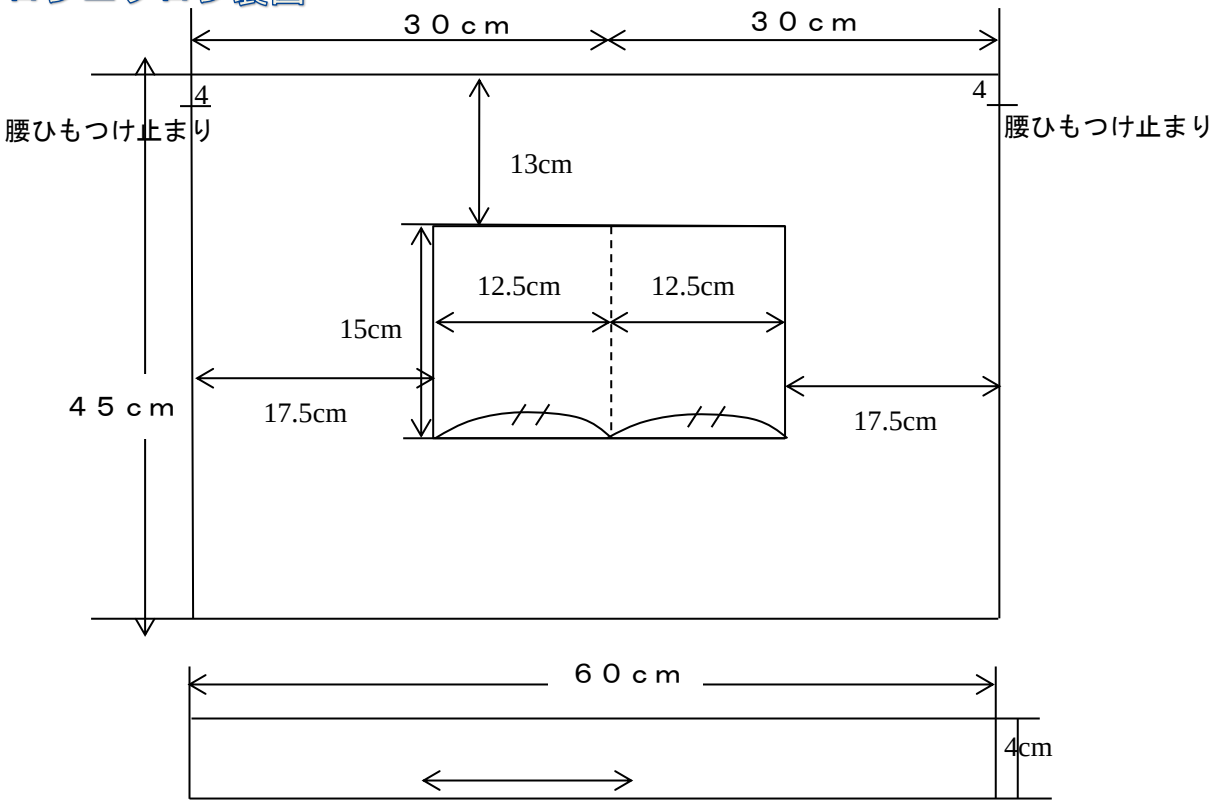


図３



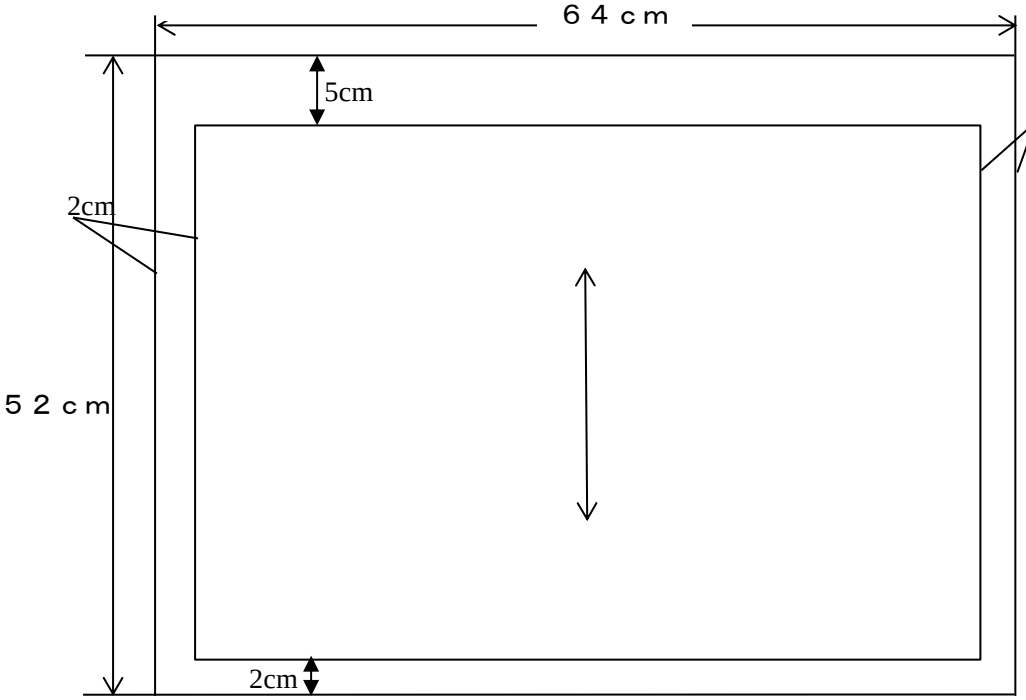
資料No.４

サロンエプロン製図

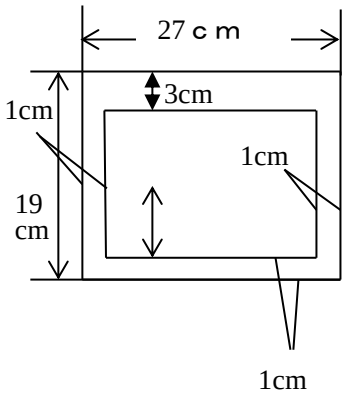


サロンエプロン縫い代とサロンエプロン裁断図（支給材料）

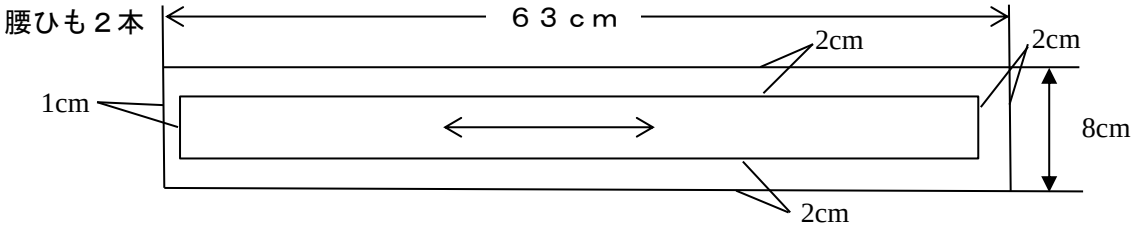
エプロン１枚



ポケット１枚



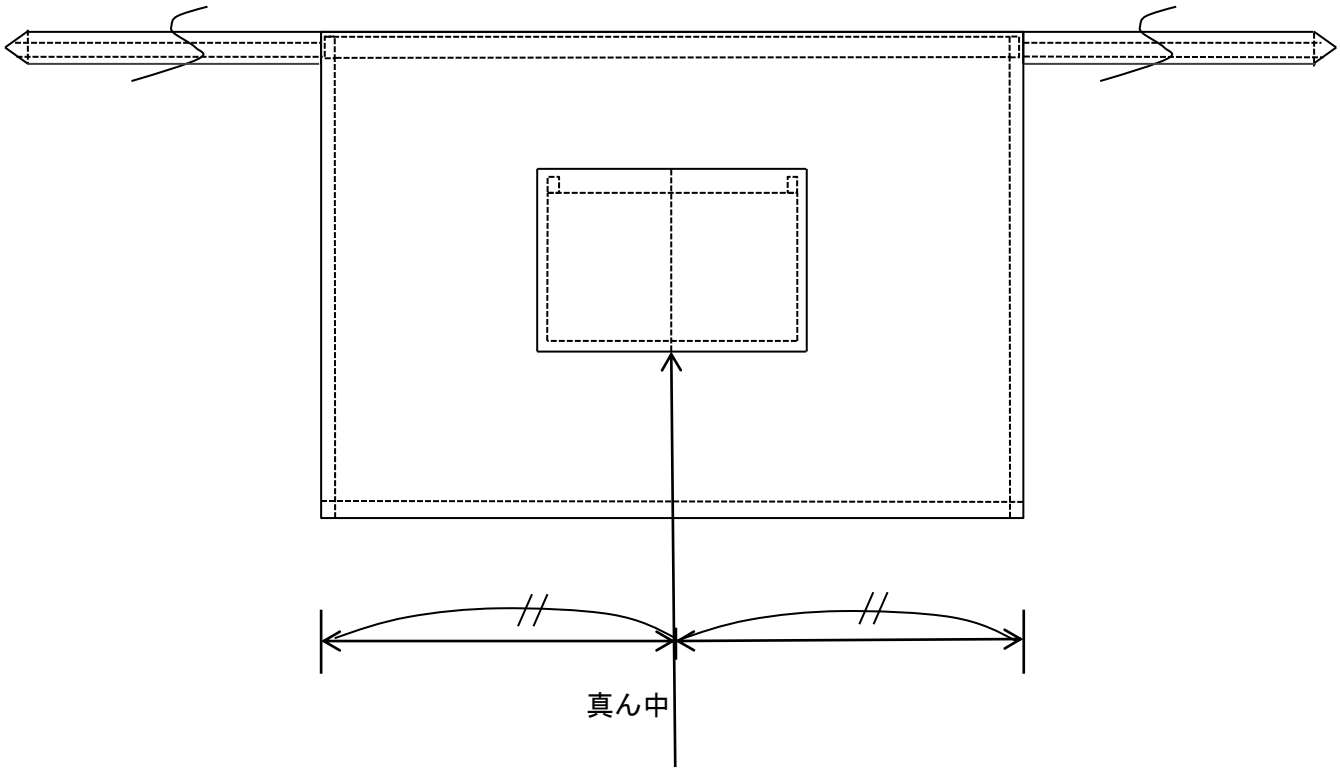
腰ひも２本



資料№.５

サロンエプロン

出来上がり図



※ポケットの中心ステッチは、
右左二等分になるようにすること